五つのテーマで中国大陸を見る

中国駐東京観光代表処 新しい旅のスタイル提案

特集第2弾

中国駐東京観光代表処は、中国大陸全土の観光魅力を「癒やし」「三国志」「古文明」「西遊記」「大自然」という五つのテーマで日本の消費者にアピールしている。今回はそのうちの一つ、中国南東部で主に展開する「癒やし」の旅の魅力、そのモデルプランを紹介する。

中国大陸観光テーマ案内図

美しい太湖の夕景

中国南東部で「癒やしの旅」

上海市

水辺をのんびり散策
遊覧船で都市の風景一望

外灘夜景

黄浦江遊覧船

上海は人口2400万人を抱える中国一の大都市で、同国経済の中心地。

長江の支流、黄浦江が街の中心を流れ、西側は古くからの市街地浦西地区、東側は近年発展が著しいニュータウンの浦東地区と、趣の異なる街並みを形成している。

浦西地区は黄浦江の川沿いに位置し、中洋折衷の古い建物が軒を連ねる外灘（バンド）、400年の歴史を持つ名園・豫園、市民の憩いの広場・人民広場、中国一の繁華街・南京路歩行街など見どころが多い。

一方、浦東地区は高さ468㍍の東方明珠タワーをはじめ、高層の建築物が林立。未来都市の様相を呈している。

黄浦江の水辺は遊歩道が整備され、観光客がのんびりと散策できるほか、両岸の都市風景を一望する遊覧船も運航されている。

上海料理は濃い味と甘さが特徴。コメの産地で魚介類も豊富なことからこれらを素材にした料理が多い。上海ガニや小籠包が有名だ。

江蘇省

小舟で運河巡りを
太湖のほとりで癒やしのひと時

蘇州山塘街

江蘇省は中国沿海部にあり、南は上海市と浙江省、北は山東省、西は安徽省と接する。蘇州、無錫、南京などの観光都市があり、日本でもなじみが深い。

湖が多く、世界遺産に登録された大運河をはじめ、大小の運河が至るところに張り巡らされている。小舟での運河巡りや水辺の散策で、人々は癒やしのひと時を過ごせる。

「東方のベニス」と称される蘇州は、古い街並みに水路が総延長35㌔、橋が168と、中国一の水郷都市だ。中心市街地には古い建造物が並び、夜は美しくライトアップされる。運河と古い街並み、古い橋を同時に眺める山塘街も絶景スポットだ。

太湖は面積2425平方㌔と、中国で3番目に大きな淡水湖だ。水辺の景色が美しく、特に無錫近郊の竜頭渚（げんとうしょ）公園は「太湖第一名勝」と称される。春の桜が美しい。

浙江省

美しい西湖の十景
世界文化遺産にも登録

浙江省は中国沿海部の省で、北は上海市と江蘇省、西は安徽省と江西省、南は福建省に接する。省都は杭州で、日本との間に直行便が運航されている。

この杭州、中国の有名な古都の一つで、古くから「上に天国あり、下に蘇州・杭州あり」とうたわれたほか、元の時代にイタリアの旅行家マルコ・ポーロから「世界で最もきれいで富のある都市」と称賛されている。

市街中心の西にある西湖は杭州で最も有名な観光スポットで、「中国十大風景名勝」に挙げられるほか、2011年に「杭州西湖の文化的景観」としてユネスコの世界文化遺産に登録された。

周囲15㌔、面積6・5平方㌔の湖に「西湖十景」と呼ばれる10の美しい眺望スポットがある。そのうちの一つ、「雷峰夕照」は雷峰塔という高さ70㍍の塔が建ち、頂上から西湖の景色を一望できる。

遊覧船や、十景を巡る電動カートも運行されている。

西湖雷峰塔

福建省

海洋ロードの起点
銘茶の産地で最高級品味わう

武夷山いかだ下り

福建省は中国大陸南部の沿海部にあり、北は浙江省、西は江西省、南は広東省に接する。

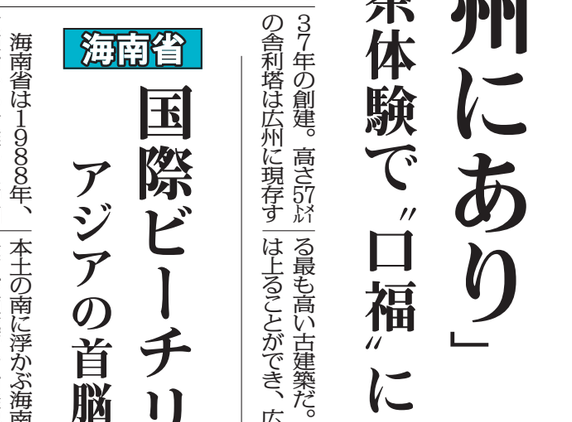
海洋シルクロードの起点として、古くは漢の時代から海外との交易が行われてきた。「華僑のふるさと」としても知られ、海外に在住する同省出身の華僑は1千万人以上といわれる。

省の主要都市アモイは、その温暖な気候などから「中国で最も住みやすい町」といわれる。船で30分ほどの小島・コロンス島はヨーロッパなど世界各国の領事館がかつて置かれ、現在も千軒以上の西洋建築物が残る。

昨年は島全体がユネスコの世界文化遺産に登録された。

省の内陸部にある武夷山も1999年、世界自然遺産と文化遺産の複合遺産に登録されている。武夷山脈と九曲渓の山河の景色が美しく、渓流のいかだ下りが人気だ。

武夷山は銘茶の産地でもあり、山の岩場で栽培される岩茶、その最高級品の「大紅袍」（だいこうほう）が有名。



飲茶料理

広東省

「食は広州にあり」
本場の飲茶体験で〝口福〟に

広東省は中国大陸南部の沿海部に位置。福建、江西、湖南、江西チワン族の四つの省・自治区と香港、マカオの両特別行政府に接し、海を隔てて海南省もすぐ目の前。省都の広州や深圳を中心に経済発展が著しく、街は活気に満ちている。

広州の新たな見どころとして注目されるのが2010年にオープンした広州タワー。高さ600㍍という長大なテレビ塔で、世界最長という屋外らせん階段や、世界で最も高い場所にあるという観覧車など、各種のアミューズメント施設がある。夜は塔全体が美しく虹色に輝く。

対照的なのが市の中心にある六榕寺で、西暦537年の創建。高さ57㍍の舎利塔は広州に現存する最も高い古建築だ。塔は上ることができ、広州の街並みを一望する。

「食は広州にあり」の言葉で知られる通り、広州は中国の食のメッカ。シュウマイ、チャーシュー、エッグタルトなど、ワゴンで運ばれる小皿の料理を味わう飲茶は同地が本場で、ぜひ現地で体験したい。

海南省

国際ビーチリゾート
アジアの首脳会議で注目

海南省は1988年、本土の南に浮かぶ海南島全てが領域で、省発足と同時に経済特区、2010年には「国際観光島」に指定されている。

省の魅力は何といっても海。海岸沿いにビーチリゾートが整備されている。特に島南部の同省第2の都市・三亜には、国際級のビーチリゾートが整っている。亜龍湾ビーチは1992年に開発された新しいビーチで、敷地内に海水浴場、ホテル、会議センター、ゴルフ場、別荘などを備える。全長15㌔のビーチは白砂で海の透明度も抜群。

島東部のボアオ風景区は、アジアと豪州の首脳が年1回集う国際会議「ボアオ・アジア・フォーラム」の恒久開催地だ。元々小さな漁村だったが、2001年に開催地となってからは世界の人々から注目されるようになった。

亜龍湾ビーチ

「中国南東部癒やしの旅」モデルコース

日　付	日　　程	食	宿　泊
1日目	日本から空路上海へ 到着後、専用車でホテルへ 夕食後、夜の黄浦江遊覧船と外灘散策	朝×　昼機内食　夜○	上　海
2日目	専用車で蘇州へ、運河観光 専用車で無錫へ、太湖観光 専用車で上海へ	朝○　昼○　夜○	上　海
3日目	専用車で杭州へ、西湖観光 高速鉄道でアモイへ	朝○　昼○　夜○	アモイ
4日目	アモイ・コロンス島観光 高速鉄道で武夷山へ、いかだ下り	朝○　昼○　夜○	武夷山
5日目	高速鉄道でアモイ乗り継ぎ、広州へ 本場の飲茶を味わう	朝○　昼○　夜○	広　州
6日目	広州から空路日本へ	朝○　昼機内食　夜×	

お問い合わせ　中国駐東京観光代表処
cnta.tokyo@gmail.com
TEL03−3591−8686　FAX03−3591−6886